

<平成 25 年 年頭所感>

日本再生 出発の年に

一般社団法人日本産業機械工業会
会 長 佃 和 夫

平成 25 年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、気持も新たに新年を迎えられたことと思います。

昨年を振り返りますと、わが国経済は、国内総生産（GDP）が 4～6 月、7～9 月と 2 期連続でマイナスとなるなど、世界経済の減速や復興需要の息切れ等を背景に弱い動きが続き、4 月頃からの景気後退局面入りが浮き彫りになったとみられます。なお、12 月に内閣府が発表された景気動向指数では、数ヶ月先の状況を映す先行指数が改善に転じるなど、わが国経済に「ほのかな灯り」も見えつつあるようですが、歴史的な円高水準の長期化や、長引くデフレ、電力の供給不足などが続く中、企業の皆様にはご苦勞が絶えなかったのではな
いかと推察いたします。

私ども産業機械業界の昨年の受注は、内外需とも悪化し厳しい状況が続きました。年初には海外で大型 LNG プロジェクトを受注するなど、外需を中心とした持ち直しの動きが拡大するものと期待しておりましたが、世界経済の減速を背景にアジアを始め殆どの地域で需要が減少した他、内需も製造業・非製造業とも低調に推移するなど、先行き不透明感が高まっております。

今後、業界全体が活性化し更なる発展を目指すためには、国内外の需要を喚起するため、新たな技術やシステムの開発等を通じて、社会に貢献していくことが益々重要であると考えます。

また、円高や諸外国企業との競争激化等を受けて日本全体が悲観的な気分
に傾いておりますが、これに流されることなく、自らの得意分野を冷静に見極め、生産性をさらに高めると共に、海外への事業展開についても国内事業との役割分担や共存を念頭に置いた上で推し進め、世界の成長センターであるアジア地

域の経済社会の発展に貢献しながら、共に成長していくことが必要になってい
ると思われます。

さらに、地球環境保全と経済発展の両立を図ることが世界共通の課題として
認識される中、わが国産業界が世界に誇る高い技術力を有している省エネルギ
ー・再生可能エネルギー・環境保全の分野を強化・育成していくことは、日本
再生に必要な新しい需要や雇用を創出することに繋がると共に、日本企業の技
術や製品、サービスを結集し、海外に普及させることは、地球規模での低炭素
社会の実現という国際貢献にも繋がるものであります。

以上のような認識のもと、我々産業機械業界は、東日本大震災により被災さ
れた地域の経済社会の再生に引き続き取り組むと共に、わが国産業のものづく
り力・国際競争力をより一層強化するため、高い技術力のもと高品質で信頼の
おける製品の提供に取り組んでいく所存です。

同時に、わが国の強みであるエネルギー・環境保全分野に関する技術やサー
ビスにさらに磨きをかけ、関連産業と連携しながら新たな市場を創造し、地球
環境保全と日本経済の再生に引き続き貢献してまいります。

昨年末に誕生した新政権におかれては、震災復興と成長戦略の一体的推進や
円高是正に向けた各種施策の機動的・戦略的展開、EPA・TPPの取り組み
強化、エネルギー価格の安定と供給体制の整備等、日本再生に向け、成長と競
争力の強化を重視した政策の一刻も早い実現を強く期待しております。

年頭にあたり考えるところを述べさせていただきましたが、関係各位におか
れましては一層のご指導、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご多幸を心
からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

以 上